

THE WEEKLY NEWS

2018～2019年度

国際ロータリー会長 バリー・ラシン

国際ロータリー
第2790地区ガバナー 橋岡久太郎

第6グループガバナー補佐 伊藤正人

鴨川ロータリークラブ

会長 小高由加里

副会長 倉島圭子

幹事 篠寄忠昭

会報 亀田美穂



No. 2630 (13) 2018年11月6日

＝今週のプログラム＝

11月6日 クラブ協議会

次期役員・理事

選出方法について

＝次週のプログラム＝

11月26日 移動例会

葛飾柴又帝釈天

例会日 (火) 12:30～13:30
例会場 鴨川シーワールドホテル

事務所 〒296-0001 鴨川市横渚697 伊藤胃腸科クリニック内
URL <http://www.kamogawa-rc.com> TEL・FAX 04-7093-2001

第16回 例会 報告

日時：平成30年10月23日12:30～

- | | | | |
|-------------------------|----------|-------------|-------------|
| 1、点 鐘 | 会長 小高由加里 | 7、委員会報告 | 藤代茂和 会員 |
| 2、ロータリーソング斉唱「それこそロータリー」 | | 親睦委員会 | |
| 3、ゲスト紹介 | 会長 小高由加里 | 会員結婚祝い | 脇坂保雄 会員ご夫妻 |
| 米山奨学生 楊 浩楠 君 | | 8、その他報告事項 | ガバナー補佐 伊藤正人 |
| 4、会長挨拶 | 会長 小高由加里 | 財団メジャードナー表彰 | 小高由加里 会長 |
| 5、幹事報告 | 幹事 篠寄忠昭 | 9、ニコニコボックス | |
| 6、講師卓話 | | 10、出席報告 | 斎藤英之 会員 |
| 米山奨学生卓話 | 楊 浩楠 君 | 11、点 鐘 | 会長 小高由加里 |

会長挨拶

会長 小高由加里



めっきり朝晩が涼しくなりました。

昨日姉妹都市締結25周年を迎えたマニトワックからの一行が無事に帰国致しました。本多会員とマニトワック市長とゴルフを楽しみながら、本多会員が全米広域中から相手先を見つけるというところからスタートし、苦労を重ねて締結されたものが25年を迎えるという嬉しい瞬間に立ち会えることが出来た週末でした。

また、18日には秋を訪ねて上田西RCを訪問して参りました。途中、観音山古墳に寄り、近所では大きく発掘作業が進められている姿に驚き、また前方後円墳の石室にも入り昔の豪族の葬られ方を考えると共に1400年以上も昔の人の知恵に想いを馳せる貴重な

時間でした。

上田に着いてから貴重なぶどう園にて「まさか」という新種の味見をさせて頂き、大人が笑顔で大きな口を開けてぶどうを頬張る姿を見ることができホッカリ。上田西は2年後にガバナーが誕生するクラブと言う事もあり、大変気合いの入った様子が伺えました。

夜間例会では、多くの会員の皆さまに参加頂き、松茸の香りと味をお料理と日本酒にて心行くまで、もう食べられないと言うまで堪能し、お互いの奉仕について、地域について話し合い2次会まで、そして女性メンバーは3次会までご接待頂き日付をまたいで上田という街をしっかりと堪能する事が出来ました。

案の定、寝不足にてゴルフ、観光を翌日楽しみました。上田にしても身延にしても、同じ志を持ったメンバーというのはとても打ち解けやすく、今がよければいいのではなく、この5年先、10年先を見据えた話ができるという事の良さを改めて感じました。

こういう交流こそが、「インスピレーションになろう」の解釈の「刺激し合う」事になっているのではないのでしょうか。井の中の蛙ではなく、他クラブを知ることには自分の刺激になり、また反対の事も他クラブに当てはまると思っています。

親睦がはかれる姉妹クラブがある幸せを有難く思うと共に、これからの5年、10年先の鴨川ロータリーと一緒に考える仲間がいる事を幸せに改めて感じた2日間でした。

* 講師卓話

米山奨学生 楊 浩 楠 君

皆様こんにちは。この間お世話になっております。米山記念奨学生の楊浩楠(ヨウ コウナン)と申します、日本では先生や友達が「コナン」と呼んでくれました。名探偵コナンの「コナン」じゃないですけど。

今回は私の専門(武道)に関して卓話をさせていただきたいと思っております。留学生にとっては、武道を聞いたことがある人が少ないと思う。故に、「武道とは何か」、まず紹介させていただきます。

武道とは、広義には古武道を含むが、狭義には明治維新以降に古武道から発展したもので、人を殺傷・制圧する技術に、その技を磨く稽古を通じて人格の完成をめざす、といった道の理念が加わったもの。古武道と明確に区別する場合、現代武道と呼ぶ。道の追求という点については、残心(残身、残心)などの共通する心構え所作などから茶道や、芸道ともかわりを持つ。また、乱取りや自由組手などを行うことから武道スポーツとの共通点がある。

武道の理念は時代あるいは組織や個人により様々であり、正反対の考え方も存在しているが、主要武道9連盟が加盟する日本武道協議会は「武道は、武士道の伝統に由来する日本国で体系化された武技の修練による心技一如の運動文化で、柔道、空手道、剣道、相撲、弓道、合気道、少林寺拳法、なぎなた、銃剣道などを修練して心技体を一体として鍛え、人格を磨き、道徳心を高め、礼節を尊重する態度を養う、国家、社会の平和と繁栄に寄与する人間形成の道である。」と制定していることです。

武道は長い流れの歴史があるので、今回は現代武道の復興(ふっこう)について紹介させていただきたいと思っております。

武道の現代化について：

1945年の敗戦で、日本武道は軍国主義に傾向し、占領軍から見ると危険な存在に認めて全面禁止となりました。その為武道は、スポーツ化を進めることになりました。これからは、二つ(武道の禁止と復活と戦後に展開した武道)の問題から展開したいと思っております。

武道の禁止と復活について：

相撲と空手道は昭和21年(1946)にいち早く解禁され、柔道も外国人愛好家が多く、講道館の稽古は通常通り行われていた。相撲の日本相撲連盟は、昭和21年に設立され、日本体育協会に加盟し、この年から始まる国民体育大会でも相撲競技が始まっている。

柔道は、昭和24年(1949)に全日本柔道連盟が設立され、学校教育で柔道が解禁になったのは、昭和25年(1950)であった。弓道も禁止は厳しくはなく、昭和22年に連盟が結成され、24年に改組し、25年に日本体育協会に加盟し、国民体育大会にも参加、昭和26年に学校教育においても解禁になった。けれども剣道に対しては占領軍の態度は厳しく、公私の組織的活動が禁止され、「剣道」「武道」の名称も使用禁止とされた。そこで剣道をスポーツ化した「しなない競技」が考案された。稽古着・袴ではなく、シャツとズボンとし、試合も時間制でポイント制として、スポーツ化を印象づけ、昭和27年によくしなない競技として学校教育でも許可を得た。しかし昭和27年(1952)に平和条約が発効して日本が独立を回復するや、本来の剣道復活の気運が高まり、全日本剣道連盟が結成された。翌年には「体育・スポーツとしての剣道」を掲げ、社会体育、次いで学校教育でも復活し、昭和29年にはしなない競技連盟も合体して今日につながるのである。なぎなたは、戦争前に女子教育で展開していたが、天道流と直心影流の流派の調整が難しく、戦後は競技の面を中心として展開した。昭和30年(1955)に全日本なぎなた連盟が発足、同34年から中学校以上のクラブ活動で認められた。同41年には高校の正



課として認められる。銃剣道も、昭和31年に全日本銃剣道連盟を結成し、戦前の戦技の要素を払拭して「武道として国民スポーツとして」の普及を図っている。昭和33年(1958)には、中学校の運動領域の一つに「格闘技」を設け、「相撲」、「柔道」、「剣道」を種目として指導するとされた。2年後には高校にも同様な政策が取られた。

戦後に展開した武道—合気道・少林寺拳法・居合道・杖道

合気道は、すでに大正末期から植芝盛平(うえしばもりへい)(1883~1969)が、大東流合気柔術を母胎(ボタイ)として、神道思想の影響を受けつつ「合気とは愛なり」などを掲(かか)げて、大正11年(1932)に「合気武術」を称して、独自の形態を取るようになり、昭和17年(1942)には武徳会にも登録されたが、まだ一般には公開していなかった。戦後の昭和22年に財団法人合気会が発足、昭和30年(1955)から一般公開演武を行って以降、急速に広まっていった。合気道は、競技のことを否定し、専門な形による指導をしている。

少林寺拳法は、中国に特務員として派遣され中国拳法の伝授(デンジュ)を受けた宗道臣(1911~1980)が、戦後昭和21年に帰国した後、暴力が横行(オウギョウ)し道義が廃(すた)れた社会を見て、中国拳法に創意工夫を加えた技を教えながら人としての道を説き、「拳禅一如」「自他共楽」を掲げて創始したものである。昭和26年宗教法人として出発し、四国を中心に関西圏から展開した。昭和32年(1957)、武道団体として全日本少林寺拳法連盟が設立された。

昭和31年(1956)には、日本剣道連盟に居合道と杖道も入ることになった。昭和41年に、居合道は制定形7本を同43年には杖道の12本の制定形を決めている。

進路について：

私は国際武道大学入学以来、武道(合気道と居合道)の修行と武道スポーツ経営論を勉強しております。将来の夢は中国で武道館(日本式)を運営し日本の武道と武士道精神を普及すると思っております。しかし私の知る限り、中国で武道普及の政策に関して規範的な研究が少ない、故に、現在の目標は大学院に進学しこの方面の研究をしたい。大学院に卒業後、武道を通じて日本と中国の架け橋になって自分の力を貢献したいと思っております。

奨学生になってから：

この奨学金をもらえるのは本当に嬉しいことでございます。一人で、日本に生活しているのは難しいです。進学の圧力とか就職の圧力があります、米山記念奨学会からいろいろな方面で助けていただきまして誠にありがとうございます。奨学金が受けられるのは私の生活にばかりではなく、私の学業にも寄与(きよ)してきたものと確信いたしました。私は必ず以前より一生懸命に勉強し、将来、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会の奨学生として、日本と中国の架け橋になって、日中友好の為に自分の力を貢献する。

ご清聴ありがとうございました。

～ 第2790地区 2018-19年度 地区大会に参加 ～ (10月28日)



会長 佐藤 元吉 氏	中島 出雄 氏
副会長 高橋 正幸 氏	大野 寛弘 氏
幹事 高橋 昭二 氏	石橋 繁太郎 氏
幹事 藤原 謙一 氏	平澤 俊徳 氏
幹事 藤原 謙一 氏	藤原 謙一 氏
幹事 藤原 謙一 氏	藤原 謙一 氏



*** 委員会報告**

▶親睦委員会…藤代茂和 会員

《会員結婚記念日祝い》

10月31日 脇坂保雄・房子 夫妻



*** その他報告…伊藤正人ガバナー補佐**

▶財団メジャードナー表彰 小高由加里会長受賞

▶米山奨学生…楊浩楠君



*** 幹事報告…幹事 篠寄忠昭**

1. ハイライトよねやまが届いております。
2. スリランカセミナー開催のご案内が届いております。
3. 11月26日の移動例会
「帝釈天参詣・屋形船隅田川遊覧」は、申込期限は過ぎましたが参加できるようになった方は、事務局又は幹事：篠寄まで連絡下さい。



*** ニコニコボックス**

氏名	メッセージ	氏名	メッセージ
本多利夫	祝マニトワック友好25周年	亀田美穂	カナダ引率の為会欠席ソーリー
漆原摂子様	ガバナーノミニーご挨拶	藤代茂和	8・9月例会欠席ソーリー
脇坂保雄	結婚記念お祝い御礼	亀田雄司	マニトワック酒蔵訪問感謝・欠席多しソーリー
島田誠一	上田西RCゴルフコンペ優勝	倉島圭子	マニトワックハロウィン
小高由加里	楊浩楠君卓話ありがとう		

※本日のニコニコボックス：33,000円（本日までの累計額：298,000円）

*** 出席報告 出席免除会員 …… 3名**

例会日	会員総数	出席	M.U	出席率(%)
10月9日	34	26	5	88.57%
10月23日	35	24	8	94.12%